


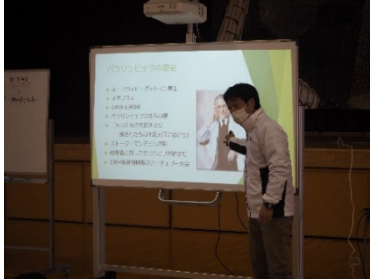


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書（実践1）

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 宮若市立宮若東中学校 】

1 実践テーマ	I・III・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	中学校1年生（142名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 保健体育科 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<p>(1) パラリンピックや障がい者スポーツへの関心を高める。</p> <p>(2) 多様性を認め、他者を尊重する態度を育む。</p> <p>(3) スポーツを楽しむ心や友情、仲間との絆を育む。</p>
5 取組内容	<p>○ 1年生4クラスを1～4時間目に分けてクラスごとに実施</p> <p>1 講演（25分）</p> <p>(1) 障がい者スポーツの理解</p> <p>(2) パラリンピックについて</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>2 ボッチャ体験（25分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1クラス（35～36名）を8チームに分けて対戦 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者スポーツ及びパラリンピックに対する興味・関心を高めることができた。 ○ ボッチャ体験を通して、スポーツを楽しむ心を育むことができた。 <p>【生徒の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パラリンピックや障がいを持っている人でもできるように考えられたスポーツがあることによって、楽しく毎日を生きていくことができる人やスポーツに一生懸命取り組んでいる人がたくさんいるんだなと感じました。 ○ 実際に体験をして、チームで協力して点数を入れることができてよかったです。難しいところもあったけど、みんな笑顔で体験できたので楽しかったです。 ○ パラリンピックの競技は、ボールの中に玉を入れて音が鳴るようにするなど、その選手達に合った工夫がされていてすごいなと思いました。 ○ 今日の授業で、助け合うことの大切さが分かりました。選手の人もスタッフの方に支えてもらいながら競技に参加したり、水泳とかでも助けてもらったりしているのに感動しました。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1) 講師の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パラリンピックの監督やコーチを経験した方を外部講師と招聘することで、障がい者や障がい者スポーツへの理解・関心を高めようとした。 ・ パラリンピック大会の実際の話を通して、パラリンピックへの興味・関心を高めようとした。 <p>(2) 障がい者スポーツの体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験を通して、スポーツを楽しむ心を育成しようとした。 ・ 体験を通して、個々の違いを理解し、多様性を認め他者を尊重する態度を育もうとした。
<p>8主な課題等</p>	<p>(1) 予算確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部講師を招聘するには、謝金が発生するため予算をどう確保するか。特に、福岡県の規定に沿った謝金となるため、講師によっては招聘できない場合がある。 ・ 道具を準備するにもお金が必要となるため、どう予算を確保するか。借用先リスト等があり、物品の借用ができると対応できる。 <p>(2) 実践事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 始めはどうしても、大きな実践をやらなければならないと考えてしまう。推進セミナーで説明されたであろうが、今までやっていることに価値付けをして実践すればいいことをもっとアピールする必要がある。そうすることで、実践に対する意識のハードルが下がると考える。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>(1) 本実践の外部講師は、パラリンピック陸上競技の総監督を経験された方にもかかわらず、講師謝金が福岡県の規定で了承を得られた。次年度は学校の予算で同講師に依頼し継続して実施したいと考えている。</p> <p>(2) 講演内容が大変素晴らしかったため、次年度以降は全校生徒に広げて実施したいと考えている。</p>

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書（実践2）

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 宮若市立宮若東中学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	中学校1・2・3年生（448名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 保健体育科 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<p>(1) 心身を向上させ、努力を尊び、他者を尊敬する態度やフェアプレイ精神を育む。</p> <p>(2) 多様性を認め、他者を尊重する態度を育む。</p> <p>(3) 記録の向上や相手との競争の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。</p>
5 取組内容	<p>陸上オリンピック</p> <p>(1) 主な内容</p> <p>ア 保健体育科の陸上競技において、50mハードル、走幅跳、ポーツェックス投の3種競技を実施した。（1年生は50mハードル、ポーツェックス投の2種競技）</p> <p>イ 「東中陸上オリンピック」とし、各種目を得点化して競った。</p> <p>ウ 個人の部として、各学年男女別上位3名に賞状を贈呈。団体の部として、各学年男女別にクラスの各種目上位5名の得点を合計し、合計得点の最も多いクラスを優勝として賞状を贈呈。</p> <p>(2) オリエンテーション</p> <p>ア オリンピック・パラリンピックについて</p> <p>イ オリンピック・パラリンピックの価値について</p> <p>(3) 授業実践</p> <p>ア 1年生：8時間</p> <p>※ 1単位時間に2種目実施</p> <p>イ 2年生：9時間、3年生：12時間</p> <p>※ 2・3年生は、1単位時間に2種目を実施し、3単位時間で3種目を2回ずつ実施</p>

(4) 最終競技会「東中陸上オリンピック」
 当日は、50mハードルとポーテックス投の2種目を実施した。(走幅跳は時間の関係上、別日に測定)



6 主な成果 ○ 陸上オリンピックを終えて、振り返りを行った。その結果を以下に示す。

1 陸上オリンピックの取組を通して、各項目で最も当てはまるものに○をつけてください。
 (4:できた 3:どちらかといえばできた 2:どちらかといえばできなかった 1:できなかった)

- (1) 記録の向上の喜びを味わうことができた (4 3 2 1)
- (2) 相手との競争の楽しさ味わうことができた (4 3 2 1)
- (3) 生涯にわたって運動に親しみたいと考えた (4 3 2 1)
- (4) 陸上オリンピックを楽しむことができた (4 3 2 1)

全体 (%)	4	3	2	1
1-(1)	49.3%	39.5%	6.6%	4.5%
1-(2)	59.1%	31.5%	6.0%	3.4%
1-(3)	44.9%	38.8%	13.4%	2.9%
1-(4)	71.7%	23.0%	4.2%	1.0%

○ 1(1)～(4)全てにおいて、肯定的評価が80%を超えており、本実践は大変有意義であったと考える。特に、(4)については、肯定的評価が94.7%であり、ほとんどの生徒が「陸上オリンピックを楽しむことができた」ことが分かる。

2 今回の陸上オリンピックは、オリンピック・パラリンピックの価値(オリパラの価値)を意識して取り組みました。あなたが意識したオリパラの価値は何ですか。次のうちから2つ選び記号で答えてください。また、それぞれどのような意識をもって、どのように取り組んだのか書いてください。

【オリパラの価値】

- ア 目標を目指して努力する力
- イ ルール尊重
- ウ フェアプレイ
- エ 支えてくれる人への敬意
- オ スポーツを通じた友情や絆
- カ 乗り越えようとする精神力
- キ 人の心を揺さぶり駆り立てる力
- ク 多様性を認める
- ケ 諦めずに限界を突破しようとする力

	ア	イ	ウ	エ
	56.8%	16.0%	14.9%	16.0%
オ	カ	キ	ク	ケ
37.7%	13.1%	2.9%	8.6%	33.8%

	<p>○ 最も多かったのは「ア」で、約 6 割の生徒が自己の「目標に向けて努力しよう」と意識したことが分かる。</p> <p>2 番目に多いのは「オ」の 37.7%で、本実践を通して約 4 割の生徒が「仲間との友情や絆」を意識したことが分かる。</p> <p>【生徒の感想】</p> <p>○ オリパラの価値を知って、運動というものは様々なものを生み出してくれるのだなと思いました。</p> <p>○ 一人じゃできないことも、周りの人から助言をもらったり、教えてもらったりすることで、周りの人に支えられてできるようになることもたくさんあると知れました。</p> <p>○ 私は運動が苦手で、正直「イヤだな」と思っていました。だけど、陸上オリンピックを通して、周りの人々の応援がどれだけ力を与えてくれるのかを改めて感じました。</p> <p>○ 陸上オリンピックを通して、友達と競争することで、スポーツの楽しさを改めて感じることができました。また、最後まで諦めず努力することで、結果は必ずついてくることも分かりました。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>(1) オリエンテーションにおいて、オリンピック・パラリンピックの価値について丁寧に説明することを通して、生徒がオリンピック・パラリンピックの価値を意識した実践となるようにした。</p> <p>(2) 最終競技会「東中陸上オリンピック」を全校生徒での開催とし、保健体育科を中心に全職員で役割分担することで、競技会の雰囲気を高め、生徒のモチベーションアップに繋げようとした。</p>
8主な課題等	<p>(1) 他の職員をどのように巻き込んで、協力体制を確立するか。</p> <p>(2) 本実践は全校生徒での開催とした。このように開催規模を大きくすれば、それだけ道具が必要となるため、予算をどう確保するか。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>○ 保健体育科の一環として、次年度以降も継続していきたい。</p>